

〒300-1152 阿見町荒川本郷 1338-15 ステージ C-2
tel&fax:895-0340 携帯: 090-1548-5294

あなたの未来がふくらむまち

海野隆議会

報告



sougousenryaku@gmail.com

海野 阿見で検索

最新情報はブログで

VOL2-12

19年3月議会の概要

3月5日から始まった阿見町議会は20日が最終日で、委員長報告、討論、採決が行われました。今議会に上程された議案の内、初日に承認した専決処分、人事案件の同意を除く、議案第14号から38号までの全議案を可決して閉会となりました。

一般会計予算は、2議員が反対しましたが賛成多数で可決成立しました。私は全議案に賛成しました。詳細は「議会だより」をご覧ください。

●阿見町予算、賛成多数で成立

20日に可決された議案は、阿見町空家等対策の推進に関する条例の制定について（全部改正）、条例の一部改正7件、平成30年度阿見町一般会計補正予算など7件の補正予算、平成31年度阿見町一般会計予算など各種会計予算7件、町の区域の設定、町道路線の廃止と認定、の25件でした。

●賛否が分かれたのは、一般会計予算の新入生入学祝い品事業の「ランドセル無償配布事業」でした

予算全体に反対したのは柴原成一、高野好央の2議員でした。理由は、「ランドセル無償配布について議論が尽くされていない」というものでした。しかし、ランドセルの部分だけを削除するような予算の修正案は出ませんでした。2議員が一般質問でこの問題に対して町長と議論したことは全くありません。

その後、「ランドセル無償配布事業」について付帯決議（※

1）を付そうとする動議が公明党の紙井和美、川畑秀慈両議員から提出されました。内容は、かいつまんでいえば「**新入生入学祝い品事業をランドセルに限定するな**」というものでした。

この動議に賛成したのは、提出者の他には柴原成一、高野好央、樋口達哉、栗原宜行の4議員、その他は反対でした。反対多数で付帯決議は否決されました。

※1：「議決された条例案・予算案に関して付されるもので、施行についての意見や希望などを表明する決議です。法的拘束力はありません。」

●19年度一般会計予算の賛否

	反対	賛成
一般会計予算	柴原成一、高野好央	佐藤幸明、倉持松雄、久保谷実、紙井和美、川畑秀慈、難波千香子、久保谷充、平岡博、海野隆、永井義一、野口雅弘、栗原宜行、樋口達哉、井田真一、石引大介
付帯決議	佐藤幸明、倉持松雄、久保谷実、難波千香子、久保谷充、平岡博、海野隆、永井義一、野口雅弘、井田真一、石引大介	紙井和美、川畑秀慈、柴原成一、高野好央、樋口達哉、栗原宜行

※吉田憲市議長は採決に加わりません

私は、一般会計予算（ランドセル無償配布事業）に対して賛成討論、付帯決議には反対討論を行いました。詳細は、以下の通りです。

●一般会計予算（特に新入生入学祝い品事業）に対する賛成討論（ほぼ全文です）

「私は、平成31年度阿見町一般会計予算に賛成の立場から討論します。

本予算には、千葉町長が昨年の選挙の際、有権者と約束した町民生活を前進させる様々な政策が、事業化されています。

たとえば、長年手が付かなかったふるさと納税への本格的取り組み、透明性ある入札を実現するための電子入札システムへの取り組み、協働のまちづくりを目指し、地域予算の試行的実施などみんなが主役のまちづくり事業、18歳までに拡大した医療給付事業、保育士人材確保のための保育士等処遇改善助成金、学校における教育相談事業を充実させるスクールカウンセラーの配置拡充などがあります。

予算特別委員会で焦点となった新入生入学祝い品事業のランドセル無償配布事業についても、千葉町長が昨年の選挙の際、子育て家庭への支援のために実施すると公約した政策です。

この公約は、今年4月に入学する新入生には間に合いませんでした。そのため、今年はプレミアム付き商品券を贈り学用品の購入に充当してもらうことになっています。この予算が成立すれば、20年4月に入学する子ども達から「ランドセル」がプレゼントされる予定です。



千葉町長は、若い世代を町に呼び込み定住促進を図るために、1、新1年生となる子ども達に何か記念になるものをプレゼントしたい、2、保護者に対して入学にかかわる出費の支援をしたい、と考え、いくつかある政策の中から「ランドセルの無償配布（贈呈）」を選択しました。

その理由は、1、ランドセルは通常6年間を通じて誰もが使用すること、2、ランドセルが4万円から10万円と高額なものが多くなってきたこと、3、特注デザインの高級品などをオーダーする家庭もあること、4、金銭的事情からお下がりを使う家庭もあること、などから差別なくみんなですべて同じランドセルをと考えたということです。茨城県内では、日立市が1975年から実施しており、すでに12市町が無償配布してノウハウがあることも理由です。

予算特別委員会では、このランドセルの無償配布について、1、町民が望んでいない、2、現金や商品券の方が良いという町民が多い、3、ランドセルよりは体操服の方が良い、3、選ぶ楽しみがなくなる、3、障害等がありランドセルを背負えない子供がいる、などと質問がありました。

それに対して、町長・執行部からは、1、対象者は阿見町に住民票を有するもの全員、2、私立小学校や特別支援学校なども対象、3、ランドセルを背負えない子供たちには代替品を考慮する、4、ランドセルは、メイドインジャパンの合皮で4色の中から選べるようにする、5、配布した後、改善のためにアンケート調査を行う、という答弁でした。

障害等がありランドセルを背負えない子には、代替品を考慮するというように、事業に関わり課題となっている点については、事前に検討することを約束しており、また、事業執行後にも、アンケートなどを実施して事業の改善点を明らかにしたいとしています。

阿見町の政策が全国をリードしているとか、県内で最も進んでいるということでは決してありません。遅れていた政策を近隣市町村と肩を並べるように、あるいは少しだけ頭を出せるようにしているという現状だ、ということ認識しなければなりません。

したがって、私は、平成31年度阿見町一般会計予算に賛成いたします。」

●付帯決議への反対討論（概略です）

「付帯決議に反対する立場から討論を行います。付帯決議にある点については、すでに十分に配慮されており、さらに、議会として付帯決議をする必要性はないものと考え、付帯決議には反対します。」

●19年度予算・主な事業

●ふるさと納税事業（11,910千円）

ふるさと納税制度を積極的に活用することで自主財源を確保し、阿見町ならではの魅力的な返礼品を充実させることで町をPRし、町の農業や商工業振興に寄与することを目指します。

●国民体育大会事業（523,815千円）

スポーツ文化の交流と生涯スポーツの普及・推進をはかるとともに、阿見町の魅力を霞ヶ浦から全国に発信します。

●みんなが主役のまちづくり事業（1,741千円）

多くの町民が積極的にまちづくりに参加できる、①町民討議会の開催と、②地域予算の試行的導入を目指します。

●空家対策事業（507千円）

空家の適正管理の促進、空家の利活用や流通の促進、空家化の予防についての施策を推進します。

●コンビニ交付事業（4,771千円）

住民サービス向上のため、マイナンバーカードを利用した、コンビニでの証明書交付サービスを開始します。

●障害者介護給付事業（553,389千円）

障害のある方が安心して暮らせるために、必要なサービスを提供します。

●保育士等処遇改善助成金（20,700千円）

町内私立保育施設の保育士等に対し処遇改善の補助を行い、保育士の確保を図り待機児童の解消を目指します。



●子育て世代包括支援センターの新設（5,372千円）

子育て世代包括支援センターを新設し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援体制をつくります。

●特定地区道路整備事業（79,550千円）

子ども達の安全な通学のために本郷小学校通学路を新設する事業です。

●スクールカウンセラーの配置拡充（1,350千円）

スクールカウンセラーの配置を拡充し、教育相談体制を充実し、暴力行為、いじめ、不登校等の問題行動の未然防止、早期発見、解決に努めます。

●議会インターネット配信事業（3,012千円）

開かれた議会の取り組みとして、本会議の様態をインターネットに配信します。

以上の他にも、町民生活を前進させる様々な政策が、事業化されています。町ホームページに掲載されています。



阿見町議会報告会
 次回の予定は5月12日（日）
 10時から、かすみ公民館で

無料法律・生活相談

●地域や家庭での日常生活上の問題や法律に関わる問題などに遭遇して解決できずに悩んでいる方の相談に応じます。弁護士による相談は予約が必要です。

予約は、090-1548-5294